



2026年5月8日

各 位

会 社 名 セーラー広告株式会社
代 表 者 代表取締役社長 香川 裕史
(コード 2156 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 執行役員総務局長 西分 太郎
(電話 087-825-1156)

法人税等調整額の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年3月期第4四半期連結会計期間（2026年1月1日～2026年3月31日）におきまして、法人税等調整額を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の通期連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 法人税等調整額の計上

当社は、現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、2026年3月期第4四半期連結会計期間（2026年1月1日～2026年3月31日）に法人税等調整額（損）14百万円を計上する見込みとなりました。これにより、2026年3月期連結累計期間（2025年4月1日～2026年3月31日）における法人税等調整額（益）は12百万円となる見込みであります。

2. 2026年3月期 通期連結業績予想の修正

①業績予想の修正内容

	総売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)
前回予想 (A)	8,300	150	170	—
今回予想 (B)	7,858	△23	2	△4
増減額 (B-A)	△442	△173	△168	—
増減率 (%)	△5.3	—	△98.8	—
(ご参考) 前期実績 (C) (2025年3月期)	7,968	9	84	27
増減額 (B-C)	△110	△32	△82	△31
増減率 (%)	△1.4	—	△97.6	—

②業績予想の修正理由

当社グループは、データ・AIを活用した提案活動や生成AIスクールの開催、地域商社機能を活かした商品開発など、お客さまにとって付加価値の高い取り組みを推進してまいりました。また、新たな施策として、顧客のブランディングや採用支援を目的としたスポーツマーケティング事業に着手したほか、地元企業と共同で四国の魅力を発信する新ブランドの立ち上げも実施いたしました。さらに将来の成長を見据え、デジタル・空間プロデュース領域の専門人材採用による組織基盤強化にも注力してまいりました。その結果、インターネット広告のほか、参院選や大阪・関西万博の自治体出展業務、各種地域密着型イベントの受注を獲得いたしました。また、昨年10月に子会社化した株式会社フェローのソフト開発事業も業績に貢献いたしました。しかしながら、年後半に行政プロポーザル案件等の収益計上があったものの、前期の大型スポット案件の反動減や、スポーツマーケティング事業の収益計上が翌期以降となった影響などから、期初見込みを補うには至らず、総売上高は7,858百万円（前期比98.6%）となる見込みです。

収益面につきましては、前述した専門人材の採用に伴う人件費や営業力強化を目的とした AI ツールの導入費用に加え、子会社の取得費用のほか、四国の地域製品の販路拡大へ取り組んだ事業経費の計上など、当社グループの将来の成長に向けた先行投資を積極的に実施したことから、販売費及び一般管理費が前年を上回る見込みであり、営業損失は 23 百万円(前期は 9 百万円の営業利益)、経常利益は 2 百万円(前期比 2.4%)、親会社株主に帰属する当期純損失は 4 百万円(前期は 27 百万円の親会社株主に帰属する当期純利益)となる見込みです。

※上記に記載されている業績見通し等の将来に関する記述におきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上